

学生参画による授業改善およびカリキュラム改善 ～学生参画で得られる効果～

「令和6年度後期全学FD講演会・研修会」（大妻女子大学）

日時：令和6年12月17日（火）16:30-18:00

場所：大妻女子大学千代田キャンパス

目次

Part 01 学生参画をめぐる現状と参画で得られる効果

Part 02 ワークショップ

Part 01 学生参画をめぐる現状と得られる効果

- 欧米（特に北欧）と比べて、日本では「学生参画」（student engagement）が定着しているとはいえない。
 - ◆そもそも、学生参画という用語も広まっていない。
- その一方で、学生参画を義務化しようとする胎動はみられる。
 - ◆例：「令和5年度私立大学等改革総合支援事業調査票」（2024：6）
 - 1. 教育の質向上：⑩大学等の教育研究活動への学生の参画を促す仕組みとして、以下の活動を行っているか。
 - ア 教育プログラム設計、大学運営や自己点検評価の過程において学生の意見を聴取するなど、学生が大学等の意思決定に参画する機会を設けている。
 - イ 学生をTA・SAなどの教育サポートスタッフとして活用するため、その業務内容や大学等の教育研究における役割等を明文化するとともに、研修やマニュアルの整備等を行っている。

対応すべきこと

01

大学の意志決定への参画

- A) 教育プログラム設計
- B) 大学運営
- C) 自己点検評価

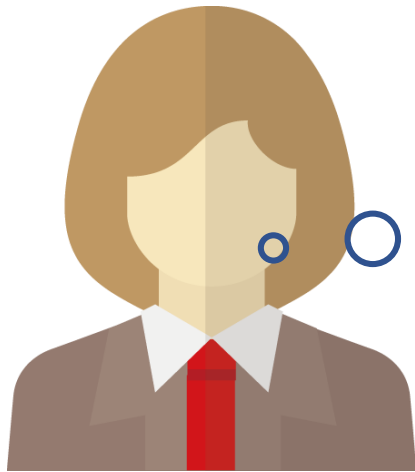
- A) TA・SAの役割の明文化
- B) 研修やマニュアルの整備

教育サポートへの参画

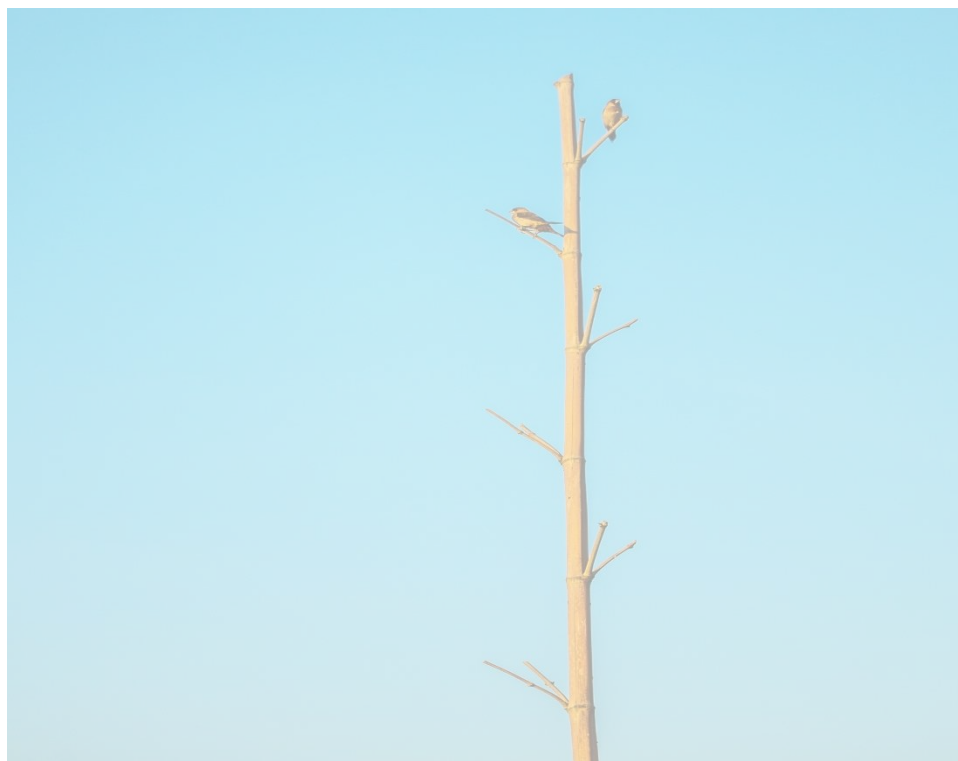
02

学生参画（参加との違い）

- 学生「参画」（engagement）とは、学生が**主体的に**大学の教育改善に関与すること
 - 学生「参加」（participation）とは、学生の意志と関係なく、大学の教育改善に関与させられること
- ◆例：授業評価アンケートへの回答



また、アンケート！
めっちゃ、めんどう。。。。



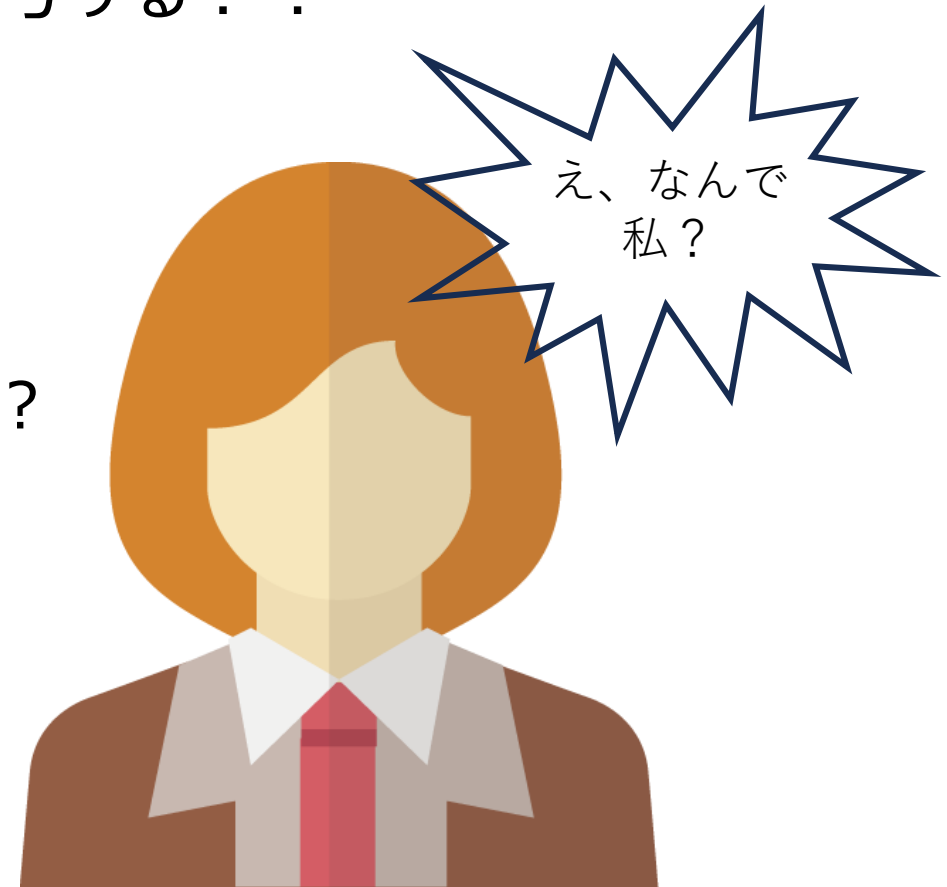
01 大学の意思決定への参画

Student engagement in university governance

意志決定への参画（簡単ではありません。。。）

●学生が大学の意志決定に主体的に関与する??

- I. 学生の誰が参画??
- II. 学生の主体性はどうやって担保??
- III. どの意志決定会議に参画??
- IV. 学生の会議での立場は??
- V. ボランティア、それとも給与を受け取る??



I. 学生の誰が参画?? (1/2)

●参画する学生（学生代表）の選び方

◆学生が自らの学生代表を選挙で選ぶ（欧米型）

➢ 三つのレベル（全学、学部・学科、クラス）

◆教育組織（教員）が学生代表を選ぶ

➢ 筑波大学の事例

自己点検評価に
学生が参画

出典：筑波大学教学マネジメント室（2023）「筑波大学におけるモニタリング及びプログラムレビューの実施に関するガイドライン」、36頁

プログラムレビュー対話の流れ

ガイドライン実施方法⑤～⑨

実施方法

プログラムレビュー委員会が学位プログラムの代表者と当該学位プログラムを所掌する学群長等に対して、事前に送付する（される）質問事項及び仮のプログラムレビュー結果に基づいて対話を行う。

参加者

プログラムレビュー委員会の委員

- 内部委員：若干名
- 外部委員：対話の実施単位ごとに1名
- 学生委員：対話の実施単位ごとに1名

プログラムレビューの対象組織

- 学群長、学術院長、研究群長、専攻長：各1名
- 各学位プログラムの長及びその他の関係者

※ 陪席：関係事務職員（支援室職員を含む。）

対話の進行

※ 対話はおおむね学群又は研究群ごとのグループで実施。

内部委員から、仮のプログラムレビュー結果の説明

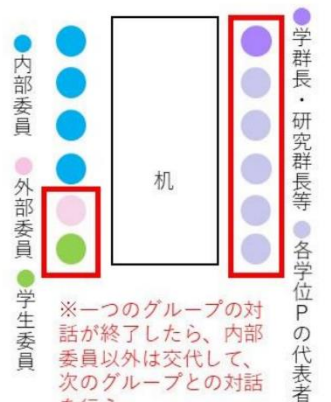
仮のプログラムレビュー結果についての対話（取組状況、課題、グッドプラクティスについてより詳細な聞き取り等）

その他質疑応答など

※ 所要時間2～3時間程度（参加学位プログラムの数により増減）

対話時のイメージ

※ 対面の場合のイメージを記載しているが、オンラインの場合もこれに準じて行う。



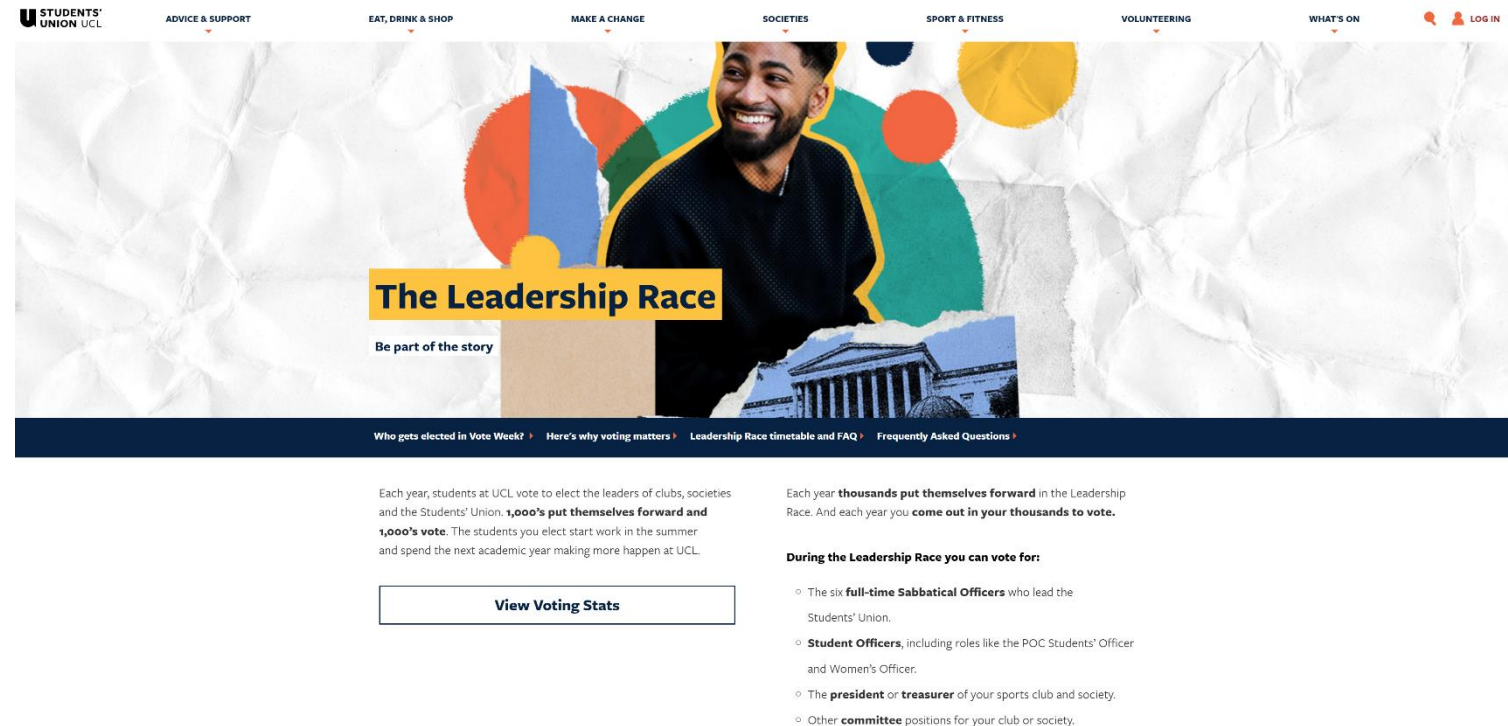
※ 一つのグループの対話が終了したら、内部委員以外は交代して、次のグループとの対話を行う。

※ 陪席：関係事務職員（支援室職員を含む。）

I. 学生の誰が参画？？（2/2）

●イギリスの事例

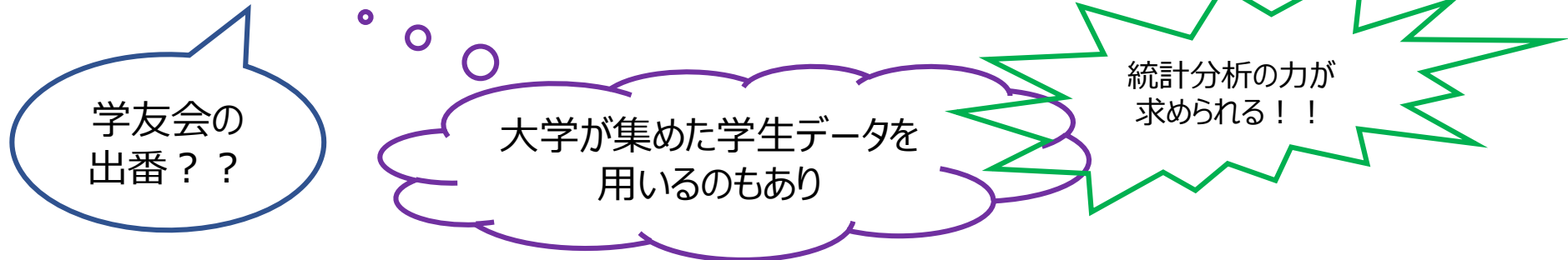
- ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）の学生組合は、学生代表を選ぶ選挙（Leadership Race）を主催している。
- サバティカル・オフィサー（sabbatical officers）とは、一年間休学して、学生代表業務を専業に行う学生たちのこと



出典：Students' Union UCL (2024) The Leadership Race (<https://studentsunionucl.org/leadership-race>、アクセス日：2024年11月1日)

II. 学生の主体性はどうやって担保？？

- 学生が自ら立候補してくれるのが望ましい。
 - ◆ただし、指名された学生でも主体性は発揮できる。
 - ◆なお、主体的な（自分の意志や判断に基づいた）行動には、**責任**が伴う。。。
 - 学生にどの程度の責任を負わせるのか、、、は難しい問題
- 学生代表の主体性を担保する制度が必要
 - ◆学生の自由な発言を妨げない。
 - ◆ただし、学生代表は個人の意見ではなく、「代表の意見」を述べる必要がある。
 - 学生代表の**代表性**をどのように担保するのか、、、は難しい問題



III. どの意志決定会議に参画??

●全学レベル

◆理事会（難易度高し。日本の先行事例はなし。）

◆大学運営会議

◆将来展開委員会

●学部・学科レベル

◆教授会（人事などへの参画は除く?）

◆カリキュラム委員会

◆自己点検評価委員会

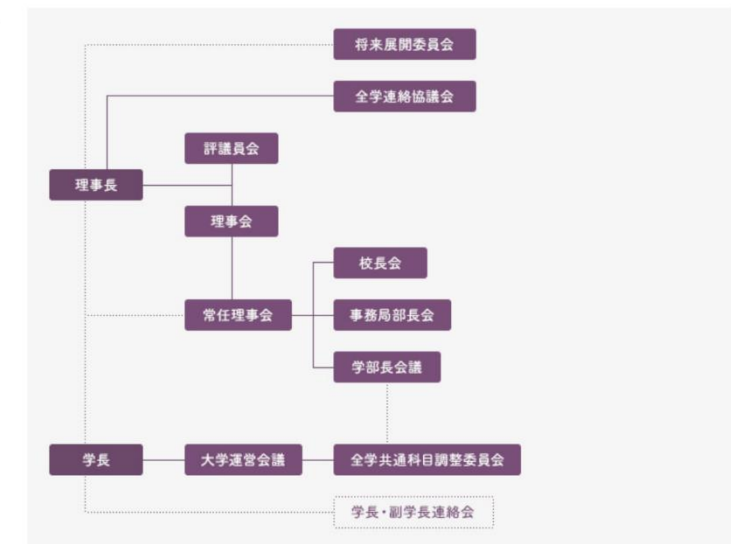
●クラスレベル

寄附行為
法人組織図
学生・生徒数／教職員数
財務情報

ホーム > 学院の基本情報 > 法人組織図

法人組織図

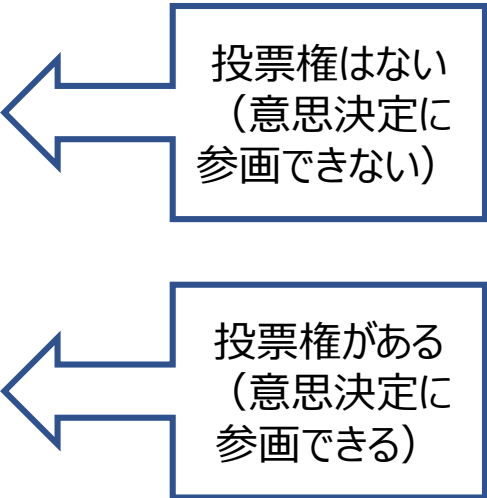
法人の管理運営組織



IV. 学生の会議での立場は？？

●四つの立場

- ① 「評価者としての学生」 (Students as evaluators)
 - 役割：アンケートなどに回答する間接的な情報提供者
- ② 「参加者としての学生」 (Students as participants)
 - 役割：会議に参加し、意見を述べる直接的な情報提供者
- ③ 「パートナーとしての学生」 (Students as partners)
 - 役割：教職員と対等な立場で教育改善に関与する専門家
- ④ 「改革者としての学生」 (Students as change agents)
 - 役割：教育改善を立案し、その実現を主導する専門家



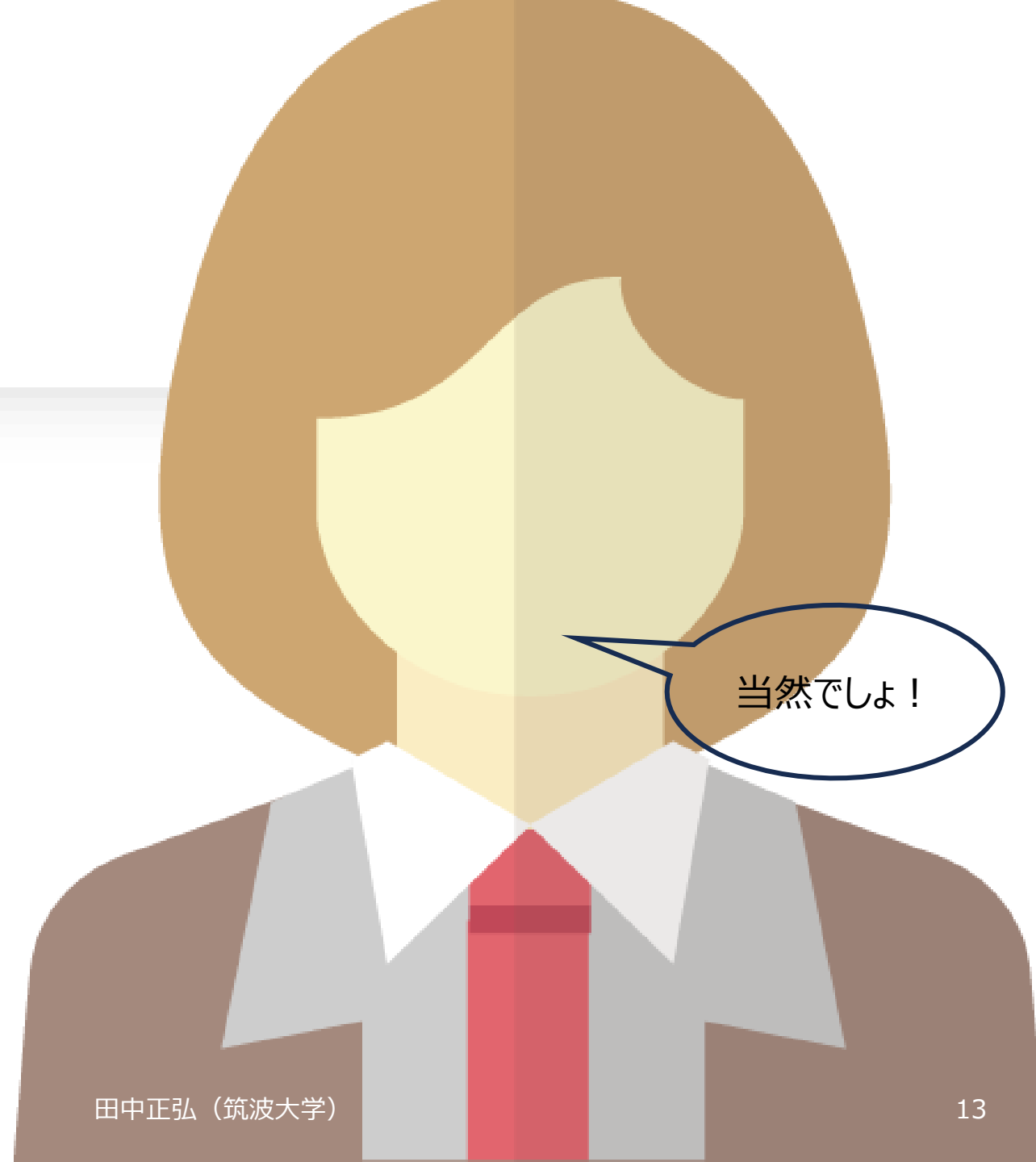
投票権はない
(意思決定に
参画できない)

投票権がある
(意思決定に
参画できる)

出典：Kay, J., Elizabeth, D. and Hutchinson, J., (2010) Rethinking the Values of Higher Education - students as Change Agents?, Gloucester: Quality Assurance Agency, p.2

V. ボランティア、それとも 給与を受け取る??

- 意見を述べるだけならば、ボランティアでも良いかもしれない。
- しかし、意思決定会議で意思決定をする立場（責任を伴うの）ならば、しかるべき対価（謝金：時間給）を受け取るべき。
 - ◆ 筑波大学では、プログラムレビューに参画した学生に謝金を支払っている。



貴学の事例（1/2）

- 全学レベル

- ◆「学生と学長との懇談会」

- 学部学科レベル

- ◆文学部学生懇談会（学科ごとに開催）

- ◆（社会情報学部）学生との意見交換会

- ◆（人間関係学部）学友会代表とFD委員会・教職員との懇談会

- ◆（大学院）院生・教員懇談会

出典：大妻女子大学ファカルティ・ディベロップメント委員会（2023）「令和5年度 大妻女子大学ファカルティ・ディベロップメント活動報告書」

貴学の事例（2/2）

●貴学の優れた点

◆学友会が学生の意見を事前に集約し、代表性の担保に努めている。

➤例：千代田校学友会会長（2023：21）「今回の懇談会にあたって、千代田キャンパスの
学生から意見を募りましたのでご報告いたします。」

◆学生の自由な発言を促している。

➤例：学長（2023：23）「できないかもしれないと思っていることでも、検討の余地もあるかもしれないこともありますので、みなさんからのご意見をいただきたいです。」

●さらなる発展のために

◆学生に意思決定の機会を！

◆学生間の情報共有への支援を！

出典：大妻女子大学（2023）「第24回 学生と学長との懇談会」

貴学への示唆（1/2）

- 教育プログラム（カリキュラム）の改善に関わる意思決定に学生を参画させてほしい。
 - ◆理由：学生はカリキュラムの問題を体験的に知っているため（教員が知らない情報を提供できるかもしれない）。
- 参画した学生に公的な証明書を発行してほしい。
 - ◆理由：大学運営に関与したという経験は就活の場で評価されると思われるため。
- FD委員会の委員として学生を参画させてほしい。
 - ◆理由：教職員と協働して教育改善に関わることは参画した学生の成長を促すと（欧米では）いわれているため。
 - 「所属意識」（a sense of belonging）も高まるといわれている。

貴学への示唆（2/2）

- FD委員会の委員（オブザーバーではなく、正式な委員）として学生を参画させるのであれば、「大妻女子大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」に以下の文言を付記してほしい。

- ◆第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (5) 学友会から推薦された学生・院生各1名

- ◆前条第1項第4号の委員の任期は2年、同第5号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

- ◆同第5号の委員には、会議出席及びその準備にかかる時間に対して、謝金を支払う。

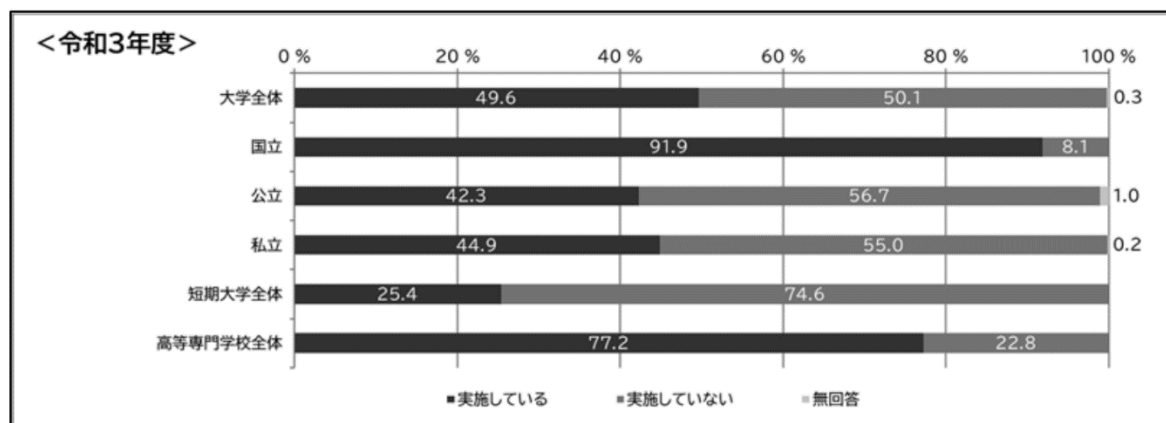
出典：大妻女子大学ファカルティ・ディベロップメント委員会（2023）「令和5年度 大妻女子大学ファカルティ・ディベロップメント活動報告書」



02 教育サポートへの参画

Student engagement in peer support

ピアサポートの実施状況（1/2）



【図18-①】

(単位: %)

	令和3年度			(参考)令和元年度		
	実施している	実施していない	無回答	実施している	実施していない	無回答
大学全体	49.6	50.1	0.3	50.4	49.4	0.3
国立	91.9	8.1	0.0	87.2	12.8	0.0
公立	42.3	56.7	1.0	40.2	59.8	0.0
私立	44.9	55.0	0.2	46.7	53.0	0.3
短期大学全体	25.4	74.6	0.0	21.6	77.5	1.0
高等専門学校全体	77.2	22.8	0.0	64.9	35.1	0.0

n=1,162

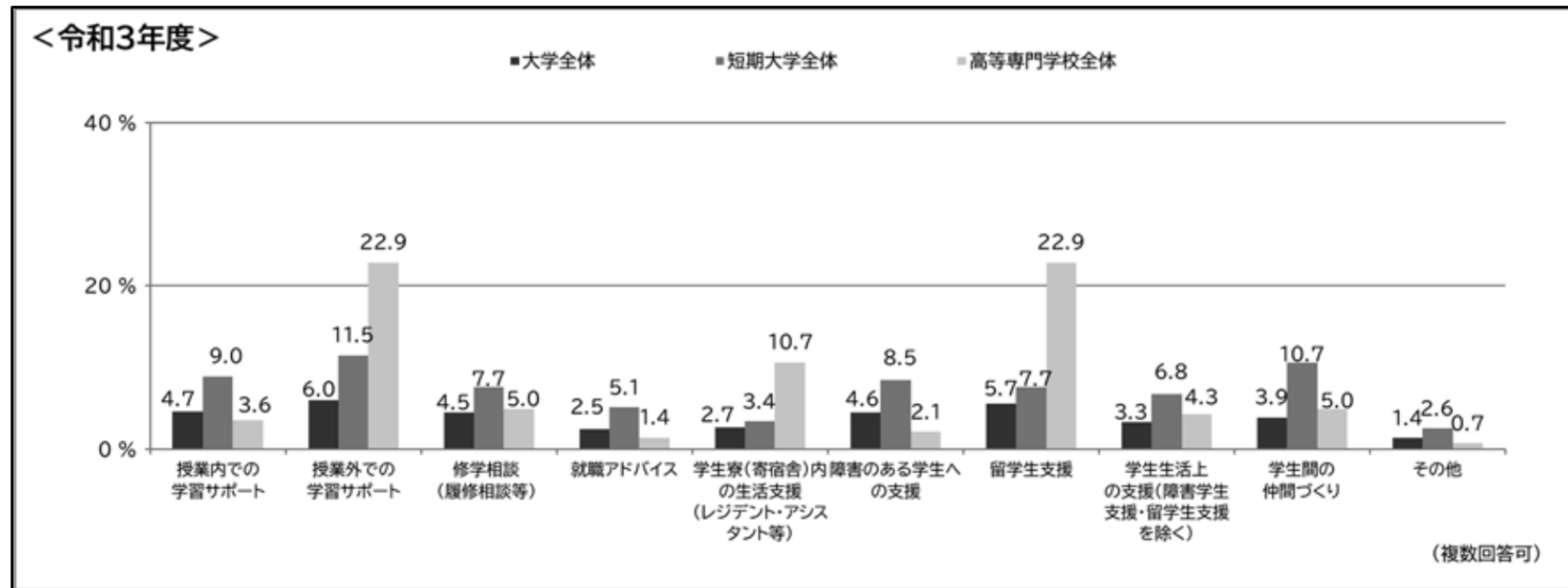
【表18-①】

- ピアサポートを「実施している」と回答した割合は、大学全体で49.6%であった（2021年度）。

出典：日本学生支援機構（2022）「大学等における学生支援の取組状況に関する調査（令和3年度（2021年度））結果報告」、60頁。

ピアサポートの実施状況（2/2）

＜支援領域＞※プログラム単位で算出



【図 18－②】

出典：日本学生支援機構（2022）「大学等における学生支援の取組状況に関する調査（令和3年度（2021年度））結果報告」、61頁。

ピアサポートの推進

●ピアサポートの推進は、学生や大学にとってよいことづくめ？

◆ピアサポーター（上級生）にとって、

- 利点1：小遣い稼ぎになる
- 利点2：教えることは最上の学び
- 利点3：「所属意識」（a sense of belonging）が高まる

所属意識が高いほど、
成績がよくなる傾向が
見られる。

◆サポートされる学生（下級生）にとって、

- 利点1：個別指導を受けられる
- 利点2：質問しやすい

◆大学にとって、

- 利点1：安価に実施できる
- 利点2：ピアサポーターの生活支援につながる
- 利点3：サポートされる学生の満足度が高まる

ピアサポートの実施にあたって検討すべきこと

●ピアサポーターの「質」の管理

- ◆上級生なら誰でもピアサポーターになれるわけではない。
- ◆適切なトレーニングが必要
 - ピアサポーターのトレーニング（および人事管理）を行う**専門部署が必要**

●トラブル発生への対処

- ◆学生間の問題（相性の不一致や恋愛のもつれなど）
 - トラブルに対応する**専門部署が必要**

●ピアサポーターをつける科目の選定

- ◆すべての科目にピアサポーターをつけることは不可能に近い。
 - リメディアル教育（高校の教科ごと）に配置？
 - 専門入門科目に配置？

ピアサポーターの役割の明文化

- TA・SAの業務の一つにピアサポーターを明記して、その具体的な役割を明文化する。

- ◆例：個別学習指導の担当

- 注：「成績不審者」に対する個別学習指導の実施は、「令和5年度私立大学等改革総合支援事業調査票」（2024: 4）の評価項目になっている。

- 1. 教育の質向上：⑦成績評価において全学部等でGPA制度を導入するとともに、GPAを用いて以下のア～エのいずれかの取組を実施していますか。

- ア 成績不審者に対する個別学習指導の実施

- TA・SA研修会（全学・学部別）の実施も明文化する。
- TA・SAマニュアルを発行する。

他大学の事例

●お茶の水女子大学の例

- ◆2004年度に、「全学ピアサポート連絡会議」が発足
- ◆2006年度に、ピアサポート報告会や講演会を全学レベルで実施
- ◆2008年度に、教員と学生による研修会を実施

●特徴：

- ◆学部（留学生支援室を含む）ごとに独自のピアサポートを展開している。

●課題：

- ◆持続性の問題（ピアサポーターの毎年の入れ替え）
- ◆危機介入の問題（より適切な専門家への「つなぎ」の指導）

出典：お茶の水女子大学（2011）「ピアサポート・プログラム報告書」第4号、1-2頁。

貴学への示唆

- 従前の優れた取組は大事にしてほしい。
 - ◆例：国際センターが既に行っている留学生サポート
 - ▶ピアサポーターが留学生に対して、「授業内容や授業の日本語に関すること」の支援や「課題作成時の日本語サポート」を行っている。
- ピアサポーターのトレーニングと彼女らの人事管理を行う専門部署（専門職員1名、非常勤補佐2名）を設置してほしい。
 - ◆教職員が兼担で行うには重い仕事だと思います。
- TA・SAの成長も重視した業務内容を設定してほしい。
 - ◆彼女らの自主性や創造性を活かしたサポートが望ましいです。
- 参画した学生に公的な証明書を発行してほしい。



退学者一人は
**300万円の
損！！！！**

ご清聴ありがとうございました

ご質問があれば受け付けたいと存じます。

Part 02 ワークショップ

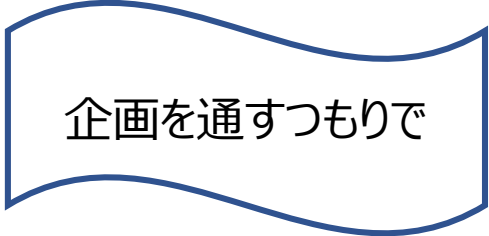
- 5名程度のグループを作ってください（同じ学科が望ましいです）。
- 作業20分、発表10分、計30分とします。
- 作業内容は以下の通りです。
 - ① グループ内の役割を決めてください
 - 司会（1名）、書記（1～2名）、発表者（1～2名）
 - ② 「大学の意志決定への参画」、「教育サポートへの参画」のどちらを選択するかについて、グループで話し合ってください。
 - ③ 次に示す課題に沿って、企画案を作成してください。
 - ④ 作成した企画案の発表をお願いします。

大学の意志決定への参画を選択した場合

●参画の推進を任されたと仮定して、以下の点を話し合って決めてください。

- ① 参画する学生の選び方（および人数）
- ② 学生が参画する会議（全学レベル、または学部学科レベル）
- ③ 学生の立場（他のメンバーと同等か、あるいは制限されるとしたら、その内容）
- ④ 学生に期待する役割（具体的に何をしてほしいか）

●それぞれについて、なぜそのように考えるのか、理由をつけてください。



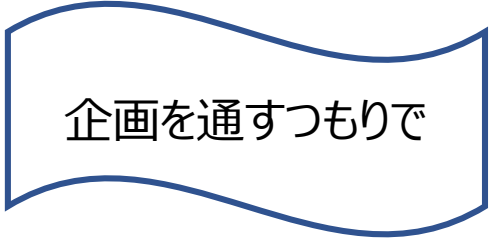
企画を通すつもりで

教育サポートへの参画を選択した場合

●参画の推進を任されたと仮定して、以下の点を話し合って決めてください。

- ① ピアサポーターの選び方（および人数）
- ② どの科目のサポートをしてほしいか（具体的な科目名）
- ③ ピアサポーターに期待する役割（具体的にどのようなサポートをしてほしいか）
- ④ ピアサポーターの研修内容（ピアサポーターが知っておくべき知識など）

●それぞれについて、なぜそのように考えるのか、理由をつけてください。



企画を通すつもりで

ご発表をお願いいたします

完成度は低くてもかまいません。
大事なのは、協働しながら一緒に考えることです。